

地元の人たちにも親しまれる  
シンボルや景勝地など地域自慢を紹介!

# 気仙沼・南三陸の地域自慢

気仙沼  
自慢01

## 気仙沼湾横断橋 (愛称：かなえおおはし)

その名の通り気仙沼湾を横断して気仙沼市中心部と唐桑半島を結ぶ「斜張橋」。全長なんと1,344mで、この型式の橋では東北最長! 高さ100mのタワーから路面中央部を桁で支える美しい形状のこの橋は、復興の新たなシンボルとなっています。



気仙沼  
自慢02

## おとひめいわや 乙姫窟

気仙沼大島最南端の龍舞崎にある神秘的な切り通しの洞窟。  
その昔、毎日漁に精を出す若者と、小舟で流れ着いた美しい姫が会って恋に落ち、この洞窟で幸せに暮らしたという伝説が残っています。



気仙沼  
南三陸  
自慢

## ポケふた (ラプラスマンホール)

ポケモンが描かれたマンホール蓋「ポケふた」は全国各地に設置されており、気仙沼市と南三陸町にも設置されています。  
このほかにも、気仙沼には「マンボウ」、南三陸には「ウタツギヨリュウ」等が描かれているマンホールが設置されています。



気仙沼  
自慢03

## はやまじんじゃ 早馬神社

この神社の創設者である梶原景実は、令和4年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の一人である、源平合戦の有名な武将・梶原景時の弟です。

参考:早馬神社Facebook



南三陸  
自慢01

## かみわりざき 神割崎

📷 P.02 写真

岩の割れ目が南三陸町と石巻市の境界になっています。  
昔、神様が二つの村の間に打ち上げられたクジラをめぐる争いを仲裁するため、岩ごとまっぴたつに割ったことから、この名前がついたと言われています。

参考:南三陸町観光協会ホームページ

南三陸  
自慢02

## なかはし 中橋

📷 P.35 写真

復興を世界に示すシンボルである中橋は、世界的な建築家で新国立競技場の設計を手掛けた隈研吾氏がデザインしたものです。橋の木材には、南三陸杉が使われています。

南三陸  
自慢03

## ラムサール条約湿地

平成30年にラムサール条約湿地に登録された南三陸町の志津川湾は、豊かな生態系が形成され、国の天然記念物で絶滅危惧種となっているコクガンの越冬地にもなっています。日本では志津川湾と女川湾でのみ繁殖が確認されているクチバシカジカという珍しい魚も生息しています。

